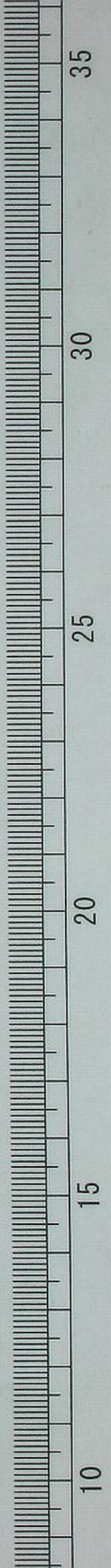


世界國畫  
 卷五  
 南洋  
 南洋  
 南洋  
 南洋

柳田文庫  
 文庫11  
 A1835  
 5



文庫11  
A1835  
50



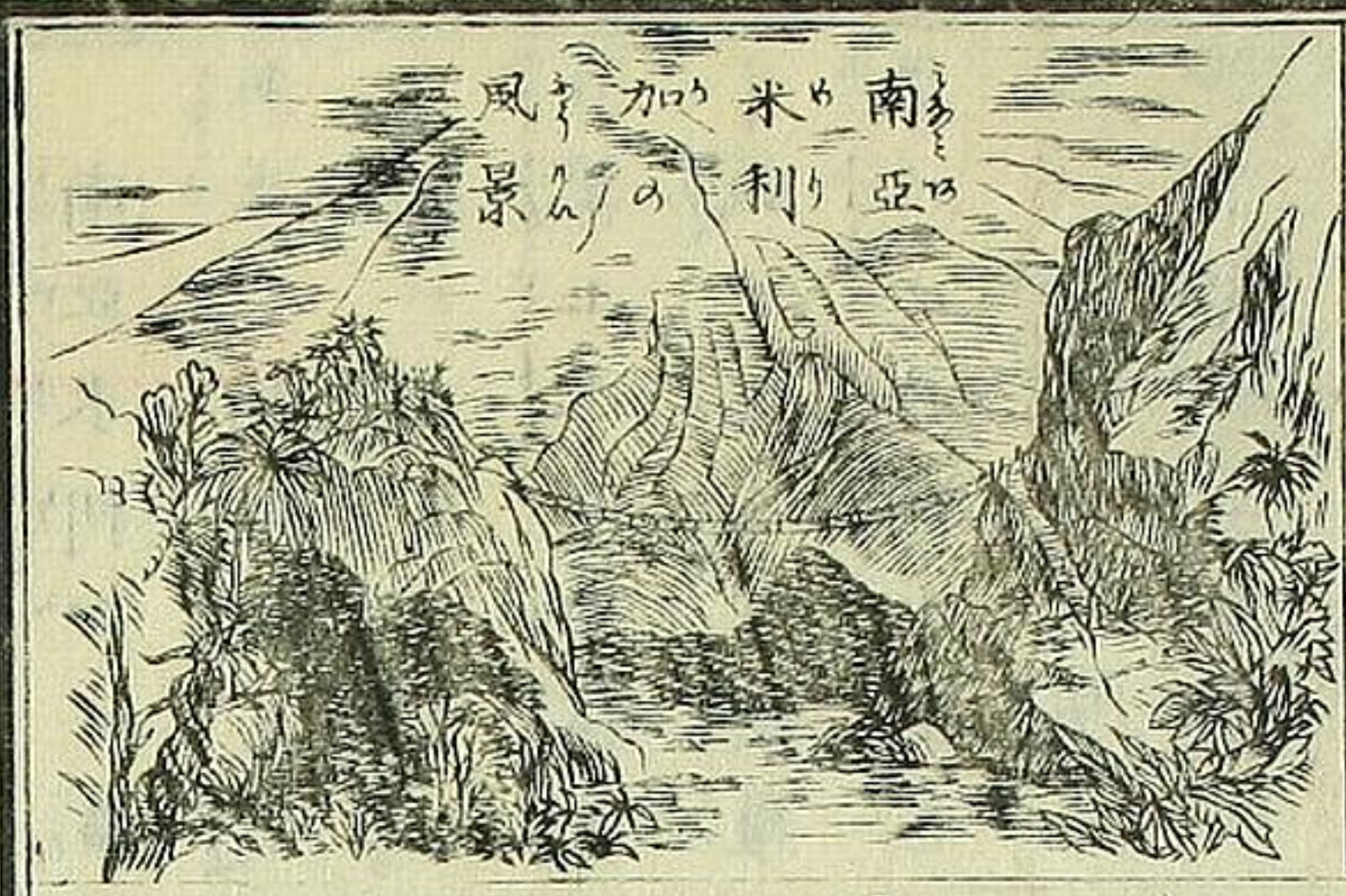
南亞米利加洲の事  
南亞米利加洲の  
の數ハ九一七  
百萬土人の子孫多  
或ハ土人と歐羅  
巴人の間ハ生れ  
たり者も有る但し  
國を支配する者  
歐羅巴人の種あり  
山林深くして草木

世界國盡卷五

南亞米利加洲  
巴拿馬地狹平  
系里太平洋海峽河多  
羅海左右ふ多  
山の脈の通れ便



茂く阿非利加等  
如き不毛の地あり

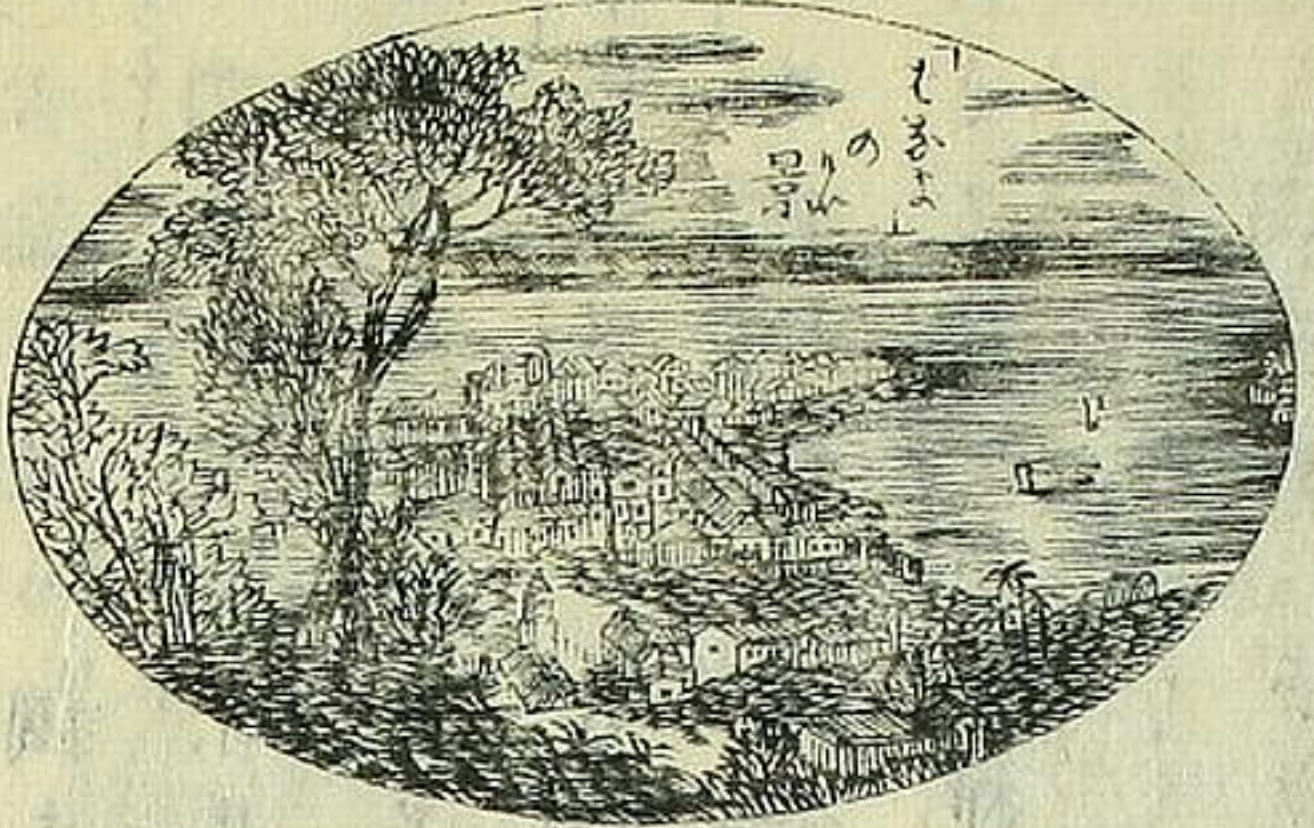


南の地は此岬  
より南に九百  
里陸に不毛の地  
あり其地は  
洲より別なる

○古論備屋ハ國を  
八洲に分ち巴奈馬  
も其中の一州あり  
東の世界ハ末洲  
西の世界ハ巴奈  
馬として地理の模  
相似たる地峽あり  
但し巴奈馬の地峽  
ハ僅か二十里に  
あらずとも山嶺ハ

北の方より南に  
共和政府は古論  
備屋南にあり乃  
道國志を直に  
山嶺高し

てひまぐ 坂割も出  
来きた多 蒸氣車の  
道はるのこ



高野山北の理を  
以て天に勝ら夏  
熱くは空のしり  
四時月々如春の野  
種奇くはまをん

○赤道國といハ赤道  
の下小當るハ斯  
く名つけたるあり  
部根重良も暖國ハ  
てよく物を生む此  
邊ハ地震多きが  
故ニ家の作皆低  
其都をハるハと  
以て千八百十二年  
の大地震ハ残らざ

川は種様あり鄰の  
由は政事地理山  
部根重良國の  
二邊速なり東の方  
刈りも農の時を  
部根重良國の

つぶきたること  
都て南亞米利加  
地震の甚き  
地ち  
き地ち

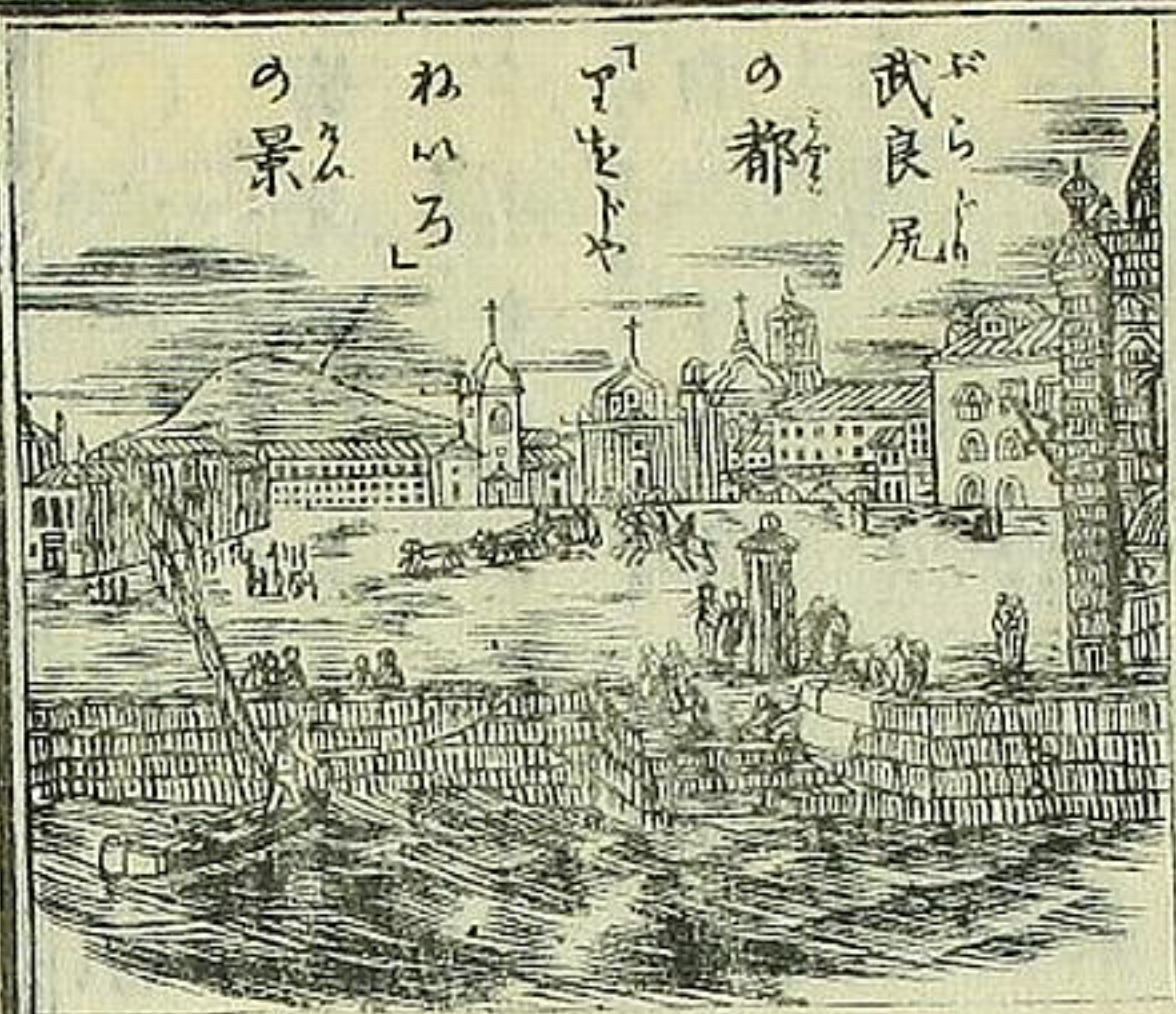


國一異まゝに  
五井梁の南  
北ん七千里東西  
六十里土地の廣袤  
分り榮併

○武良尻ハハと葡  
萄牙の領分ナリ  
か近來獨立し千ハ  
百二十二年小至て  
帝國とあまを南亞  
米利加の内にて第  
一の太國を國政  
寛くして教育の法  
行届き日耳曼及び  
瑞西より家を移し

英の三箇國名有つ  
る一部西の世界  
以物産とて東の富  
はたすくと地人  
助益被り不羈獨

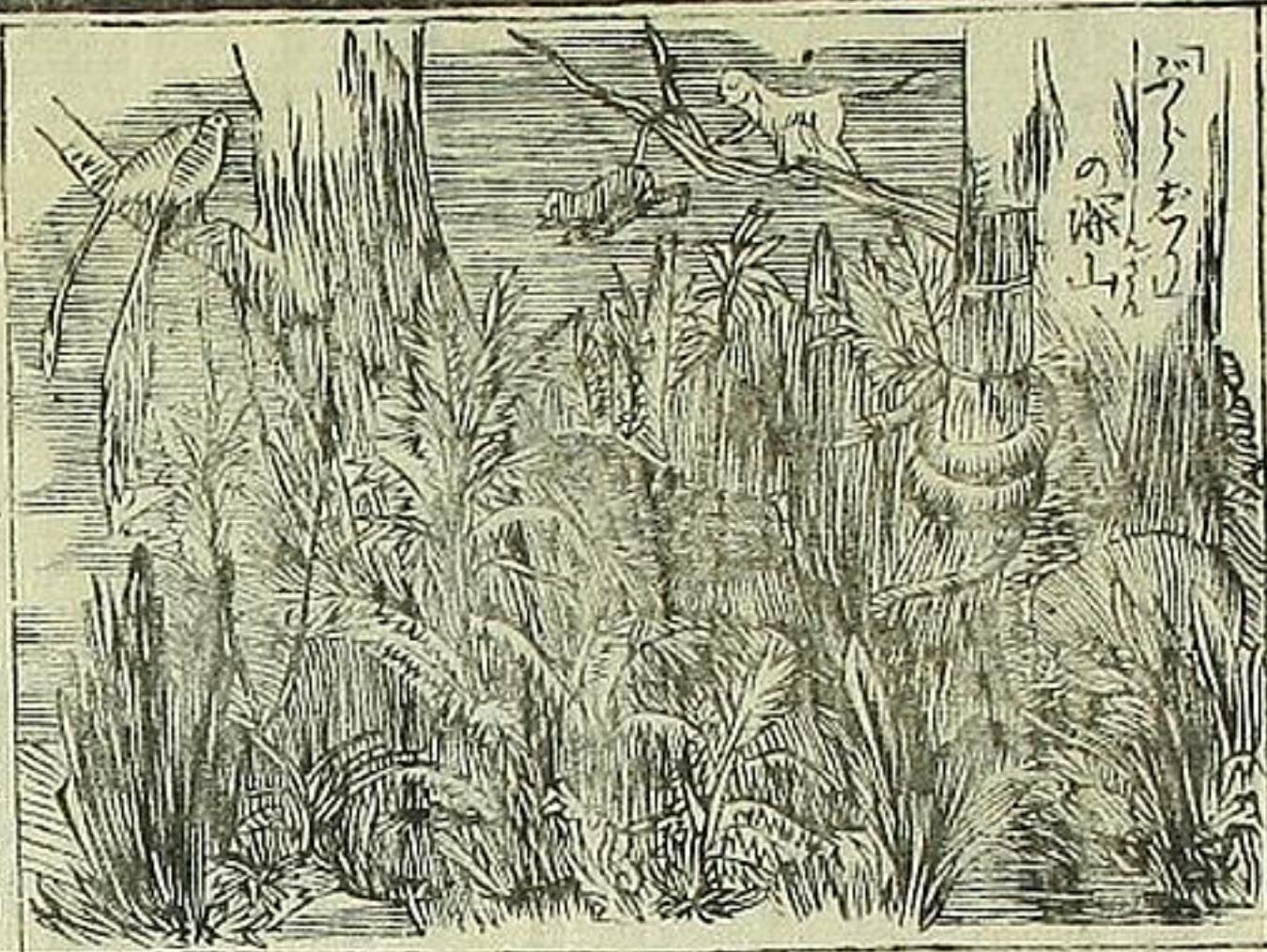
て来りし者も既小  
六萬人なり都の名  
を「王」をよやねい  
といふ大都會あり



立の武良尻人口  
七百七十萬亞米利  
加洲の南方に比類少  
き一帝は此の地を  
→ 獲れは之は以て

武良尻の産物ハ砂  
糖とつひに材木等  
の外ハ金銀も多し  
殊にだいやもんと  
ハ此國の名産あり  
領方の土地ハ廣け  
きども人の數少  
く内地の方ハ以  
だ開らけどして珍  
禽異獸夥しといふ

たおろしに深山の  
奇木長谷は禽獸  
人々迫りては事  
進む世の昇化文字  
の教流りし未熟



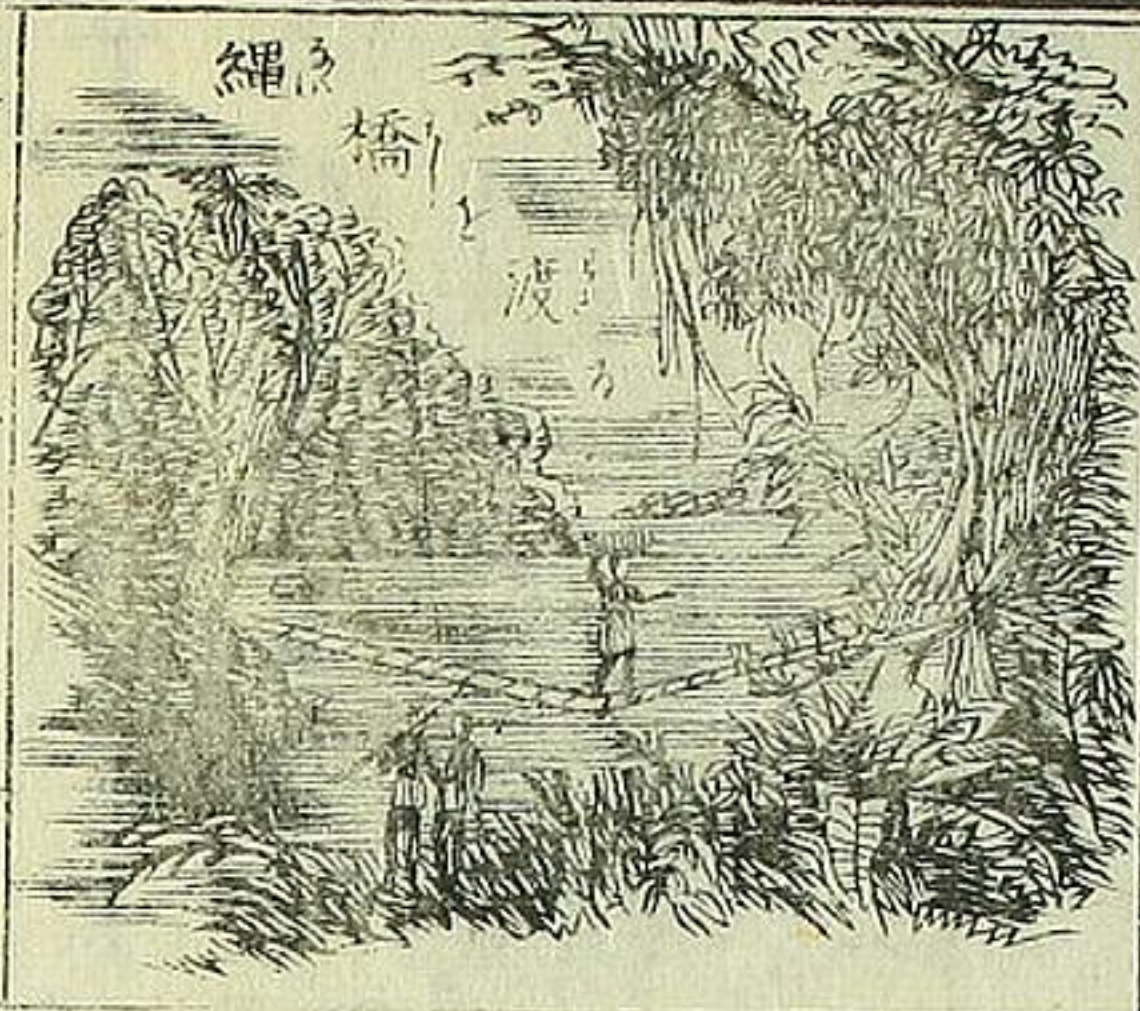
保里備屋巴羅貝等  
の諸國も皆合衆政  
府あそども土地い

母一た風俗を述く  
慕る片を稱一業  
人と穀一東南  
は保里備屋巴羅  
貝字柳貝良富羅

中開らもど固よ  
蒸氣車の路もあ  
く徒歩ふて往來を  
る小り山阪の間小  
難多一荷物を運  
送る小ハ大抵人  
馬のをを用也或ハ  
谷川小繩の橋を架  
て往來を方更り  
木曾の掛橋の如し

多越るも巴多吳  
仁厚土地以風俗人  
情大略同一共和  
政み多りの濃戸以  
麻濃蘭以濃上吉

風流人ハ悦ぶ  
あまどりの日用の不  
便利ハ夥シ



山林の深きハ  
波良

火の玉ハ亞米利加海  
の南緯の峰西に廻  
水ハ池鯉の國安天  
次山ハ林麓を南北  
ハ石三千里東西僅

尻のまからを南亞  
米利加洲何をも同  
様ナリ深山の奥ハ  
至まバ草木森々ト  
して熊者の跡も見  
へど獅子の一聲百  
獸戰慄群猿月小叫  
べバ旅客も心を悼  
む開闢の始よ  
そのより人エを經

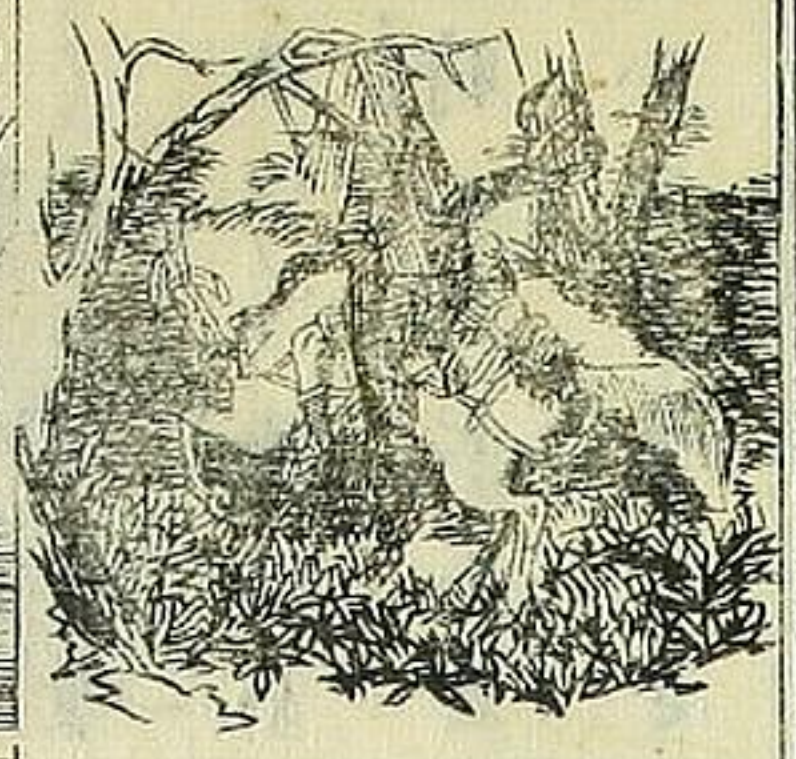
一五里天氣可厭の  
が條ハハ世界ナリ  
以類多クハ赤道  
以南の土地ハ水ハ毒  
夏秋冬異アリト我



ざるの地おそはせ  
の景色如何おも  
のまご一山静ふ  
て太古の如しとい  
此邊の有様を咏  
たるものあらん又  
暖帯の地お大  
る蝮蛇何ぞ折  
人を害るといふ恐  
る海にことあり

六月、彼も冬、彼も  
炎暑、我乃冬寒  
暑以順、衣如水  
四時正しく、衣如水  
百物成て豊、衣如水

蝮蛇の害を  
馬に



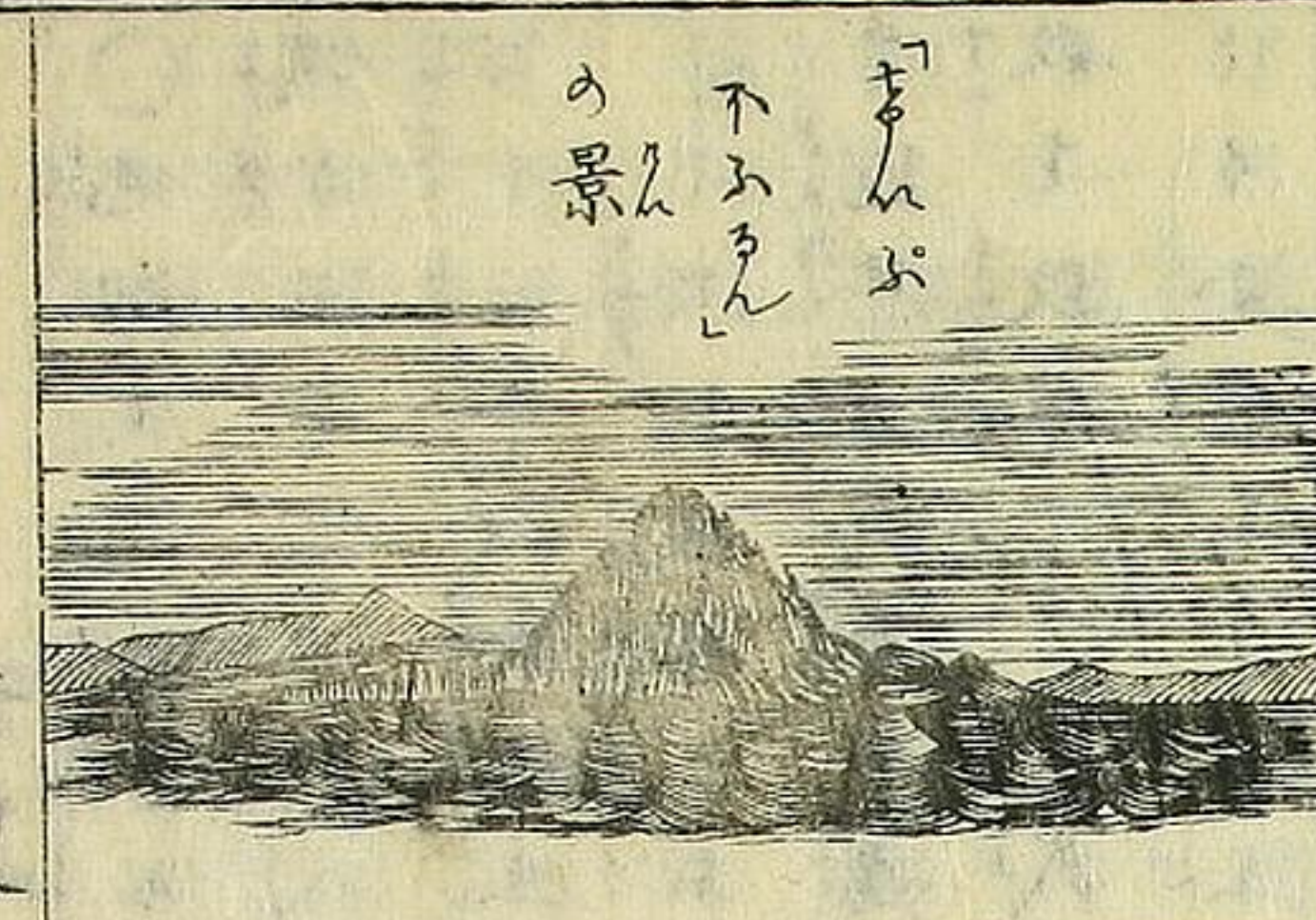
○火の國ハ南の端  
小離はたる嶋あり  
此嶋ハ火山多き

の人口二百萬諸滿  
有儀以共和政民此  
教育於一以法方  
一建了學田所楮  
古以人教云業人係

中人斯く名けしと  
我岬の名をまふ  
不ふらんといふ其  
地理東の世界の喜  
望峰ハ似たり此邊  
の土人ハ風俗甚ど  
陋しく人の肉を喰  
ふそのつり饑饉を  
どの時ハ犬ハて  
も猫ハても喰わざ

すまふ文の  
富強と伴て市の行  
未の幸福は期し  
いふらんをたのむ  
安天漢山はつと

るものありこと小  
老嫗の肉を賞翫を  
る



まふ  
不ふらん  
の景

まねりて逢ふは平  
柳百人口二百甲茶  
土地年一生活る産物  
ハ子穀金紙綿砂糖  
峰と積るる多の糞の

○地鯉も西班牙の領分ありて千八百十七年以來獨立して共和政府となす近年ハ次第に國政を改革して文武とも不盛あり四五年前西班牙より軍艦を差向けりこ

貴た名原は平柳國の幾那の皮を製して染那塩を天下無類の解其前熱之悩し病人を染

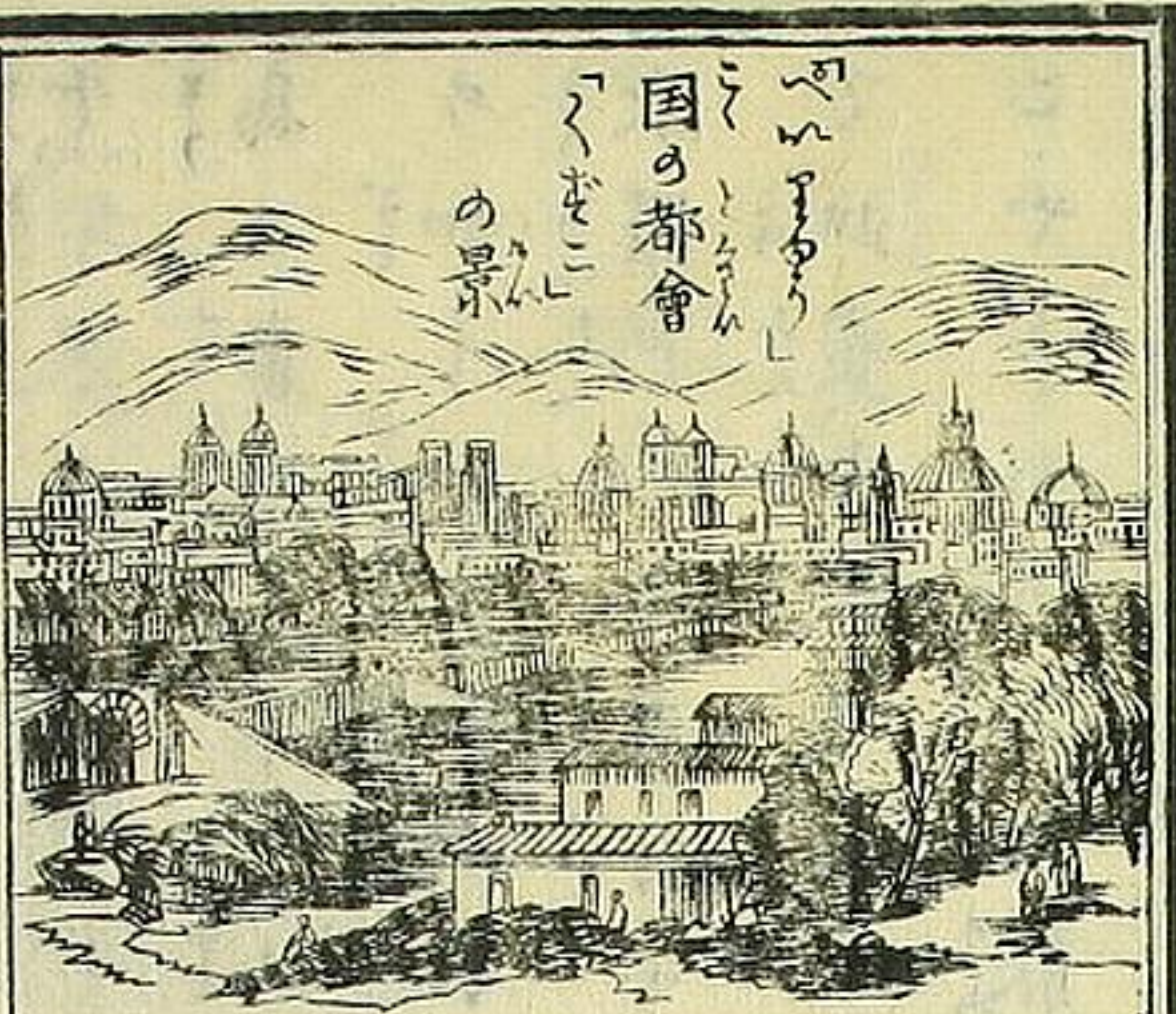
小克たど其都をさんちのじとひふ海岸より四十里をこの夏小のり此間小ハ蒸氣車の路を作て運送の便利を達せり  
○平柳ハ千八百二十四年ハやくちよの戦ふて西班牙

那塩を以て苦を忘れしは人粉白く人飯合病苦下忘れしは人勿れ地理乃醫學物に從

の手を離し獨立の  
 共和政府とすを  
 首府の名を「マニラ」  
 といふ海岸に近し東  
 の方小離れて「クダ  
 ート」といふ都會の  
 是此國も近來ハ次  
 第小繁昌して南亞  
 米利加の内ふてと  
 上國の名なり

世界圖畫卷五  
 五

其事、王の事思ふ  
 如く、此の事、道學  
 以て、道學、道學  
 再、此の事、道學  
 世界中、此國也



國の都會  
 の景

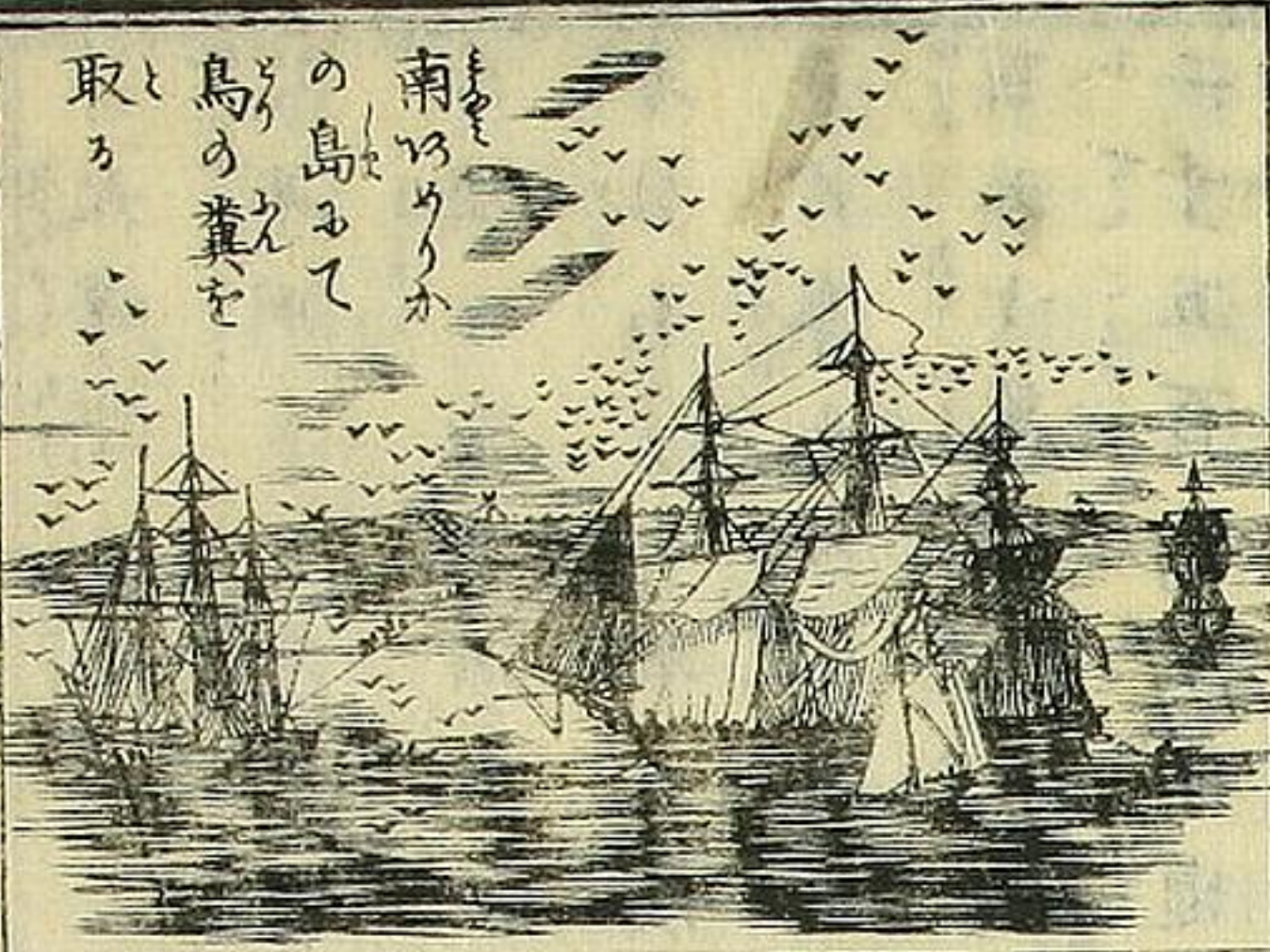
平柳の海岸小、ちん  
 ちや、る、不、長、あ、ど、い  
 へ、る、小、嶋、の、り、此、邊  
 ハ、夥、しく、海、鳥、の、集

亞細亞、河、非、利、加、歐  
 羅、巴、亞、米、利、加、海  
 北、南、序、列、島、道、以、  
 大、略、え、學、を、可、く、也

世界圖畫卷五

る更さら不なて朝あさ不な群ぐんを  
飛とべバ其その影かげ天あまを覆おほ  
ひ暮ゆふ小こ嶋しま小こ歸かへをバ  
其その聲こゑ數かず里り不な聞き不な數かず  
千せん年ねん來きた嶋しま積つり  
鳥とりの糞ふん堆たいくく一いつて山やま  
の如ごとく三さん十じゅう年ねん以い來らい  
歐おう羅ら巴ぱ人にんの思おも付つ不な  
て此この糞ふんを取とり知しり  
こや一いつ不な用もちて功こう能のう

ひなは、片かたありしに  
ん世よは、在ある所ところに、日ひ  
臨ぞく波なみくく一いつて山やま  
得うね新あらたくく昔むかしの明あき  
一いつ片かたの島しまに、故むかしより



南みなみの島しまに  
鳥とりの糞ふんを取とり

つり近ちか來きハ追お々々世よ  
不な知しりて既すでに日ひ本もと  
へも持も持も渡わたりし

大洋洲  
太平洋の島々  
百千の島々  
細島海  
南

大洋洲の事  
大洋洲と太平洋  
の鳴々を集りたる  
名目あり土地の廣  
さ集むる八九四  
百五十萬坪人口  
二千五百萬余赤道  
の邊傍あり諸島  
も天然の産物甚  
多し胡椒出む

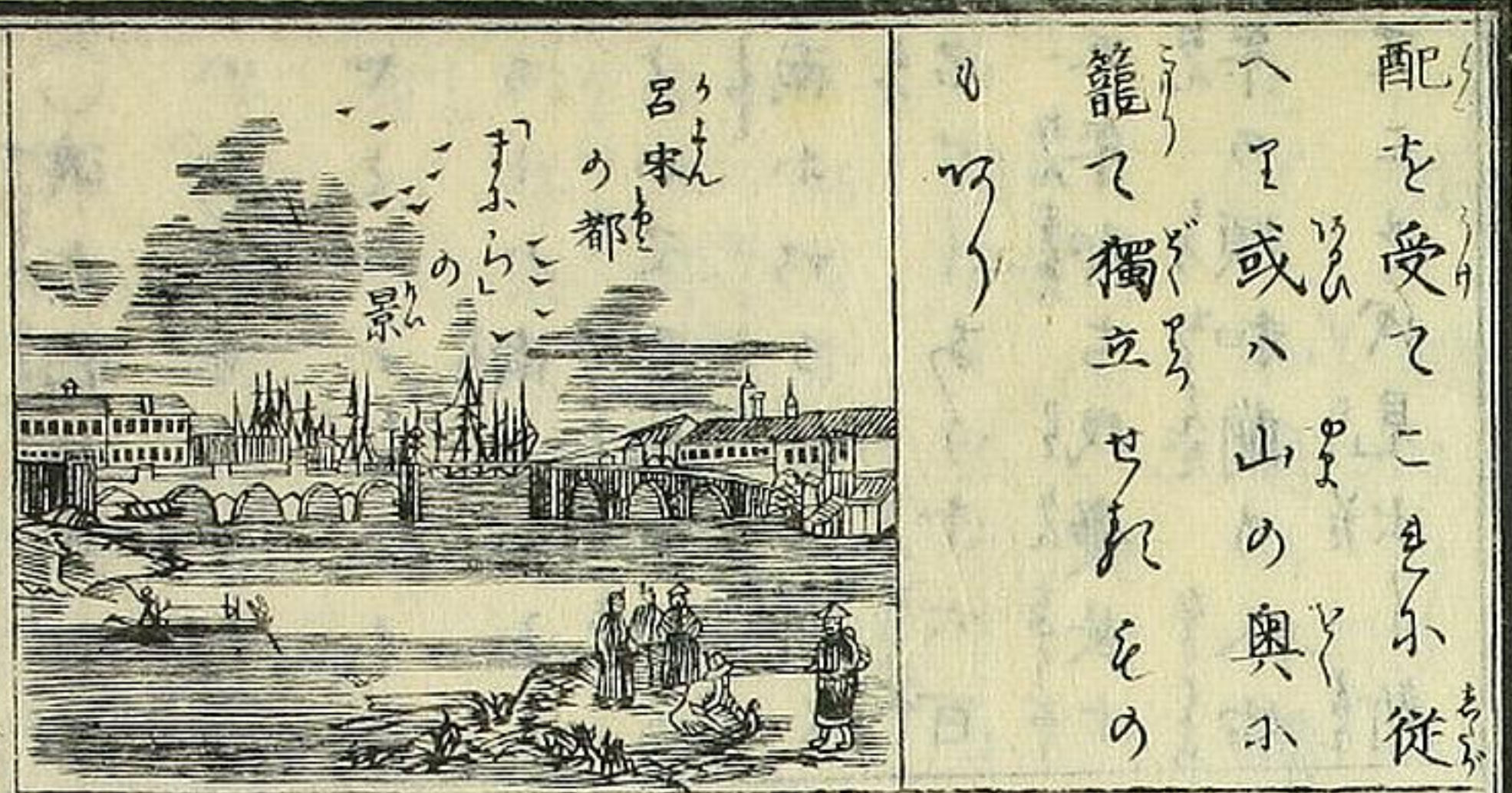
海岸に之を群る是  
須磨多羅保苗根  
尾爪哇濱禮部次  
呂宋次擇洲新銀  
石西洋次支砒石

樟腦象牙砂糖  
黄金銅錫石炭  
澤山あり爪哇須  
磨多羅保留根尾  
禮部須新銀名須  
洲等ハ和蘭の領分  
あり本國政府の臺  
所あり以て富む地  
あり呂宋の邊傍  
あり嶋ハ西班牙

地赤道より赤道  
より生るる海産  
物其遠く有る人  
本國に衣食を供  
ふる富む

其二を以て領土其都  
を備ふらんとす烟  
草の名所あり唐人  
ハ巻煙草のこゝに  
呂宋烟と唱ふ不  
のこゝあり都て此  
邊の嶋々小住居と  
る人ハ島人の種類  
おて風俗甚だた陋  
しく歐羅巴人の支

利用の經濟を著し  
此浪小舟水着地  
理の著白航海の術  
が研うたり文明は  
勇と知漢の功を



配を受けてこゝ小従  
へて或ハ山の奥小  
籠て獨立せられたる  
也  
人南より移りきて一  
世界を昔より此の地  
見せし和蘭人の  
新和蘭  
今其

○澳大利亞の本名  
 ハ「ア」は「タ」の「ド」  
 ヤとの「ふ」は「ふ」また  
 ろとハ「南」と「ふ」二  
 と「ア」は「細」や「洲」の  
 南ハ「ア」の「ア」斯く  
 名け「ア」あり「千六百」  
 五年即ち我慶長十  
 年の頃和蘭の人始  
 てこゝに「見」出「新」

名を「ア」たり「英」  
 吉利領は「澳大利亞」  
 東西「千里」南北の「度」  
 長さ「八百里」  
 人口「四百」餘「度」

和蘭と名けたるは  
 まども和蘭の本國  
 より手を入きてそ  
 の領分とあせし  
 十九年即ち我明和  
 六年英吉利の航海  
 者「カ」び「タ」ん「コ」  
 る者世界中を航海  
 して此地に至り

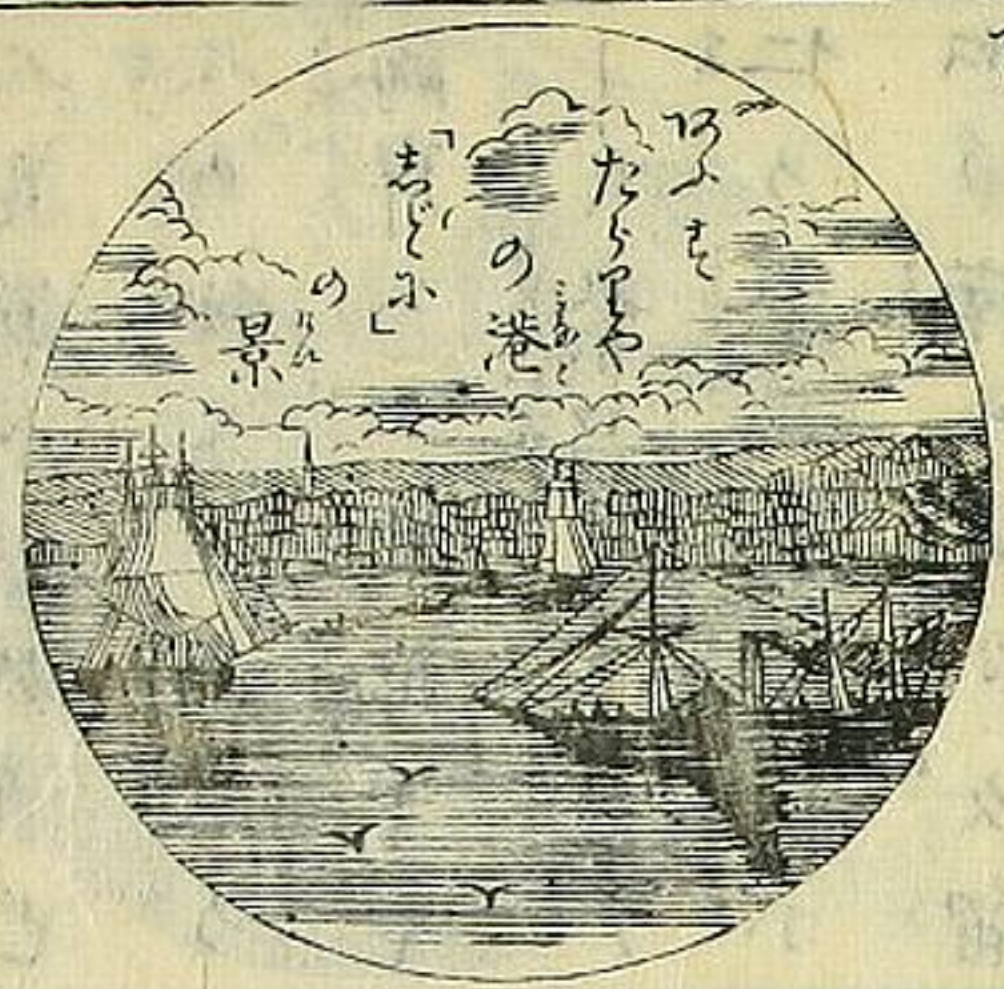
た由化の「王」様を  
 今「カ」の「人」稀に  
 此物を生かすは  
 多々新發明は金  
 の山々大洲の江類



や其模様を詮索せ  
其後英吉利  
罪人を流し次第小  
人の種も増て遂小  
英吉利の領分と  
其土地の廣大  
あること歐羅巴洲  
を六分て其五分  
不當より故小近來  
ハこもを鳴と唱ハ

以て、唐保留仁屋の  
有、其年、二、秘、  
以、黄金、幾、  
限、  
港、女

て、南海の一大  
洲といふものなり



澳大利亞ハ土地の  
割合小して人の數

留保論志、仁の市  
此交易、日、賑ふ  
衣食住み、海  
の新、世界、榮る、  
近、南、の、



世見國盡卷五

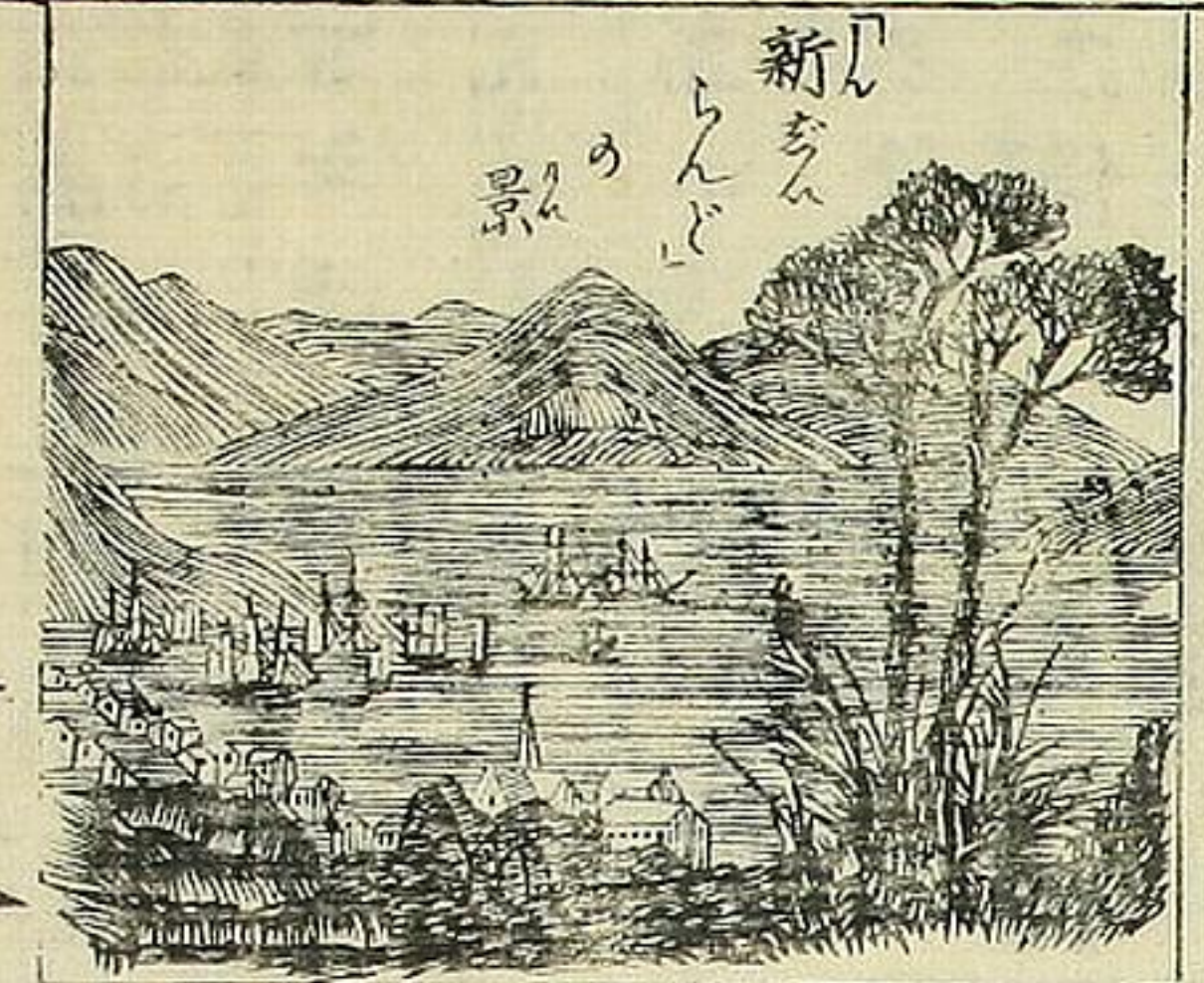
吉利の領分  
地の模様  
らるや不同  
ハ皆体不  
をま万風俗あり



この島と英吉利と

は此地の畫  
北彼地  
美吉利  
夕日  
新地

昼夜の異  
地球の圓  
廻る理  
合点を

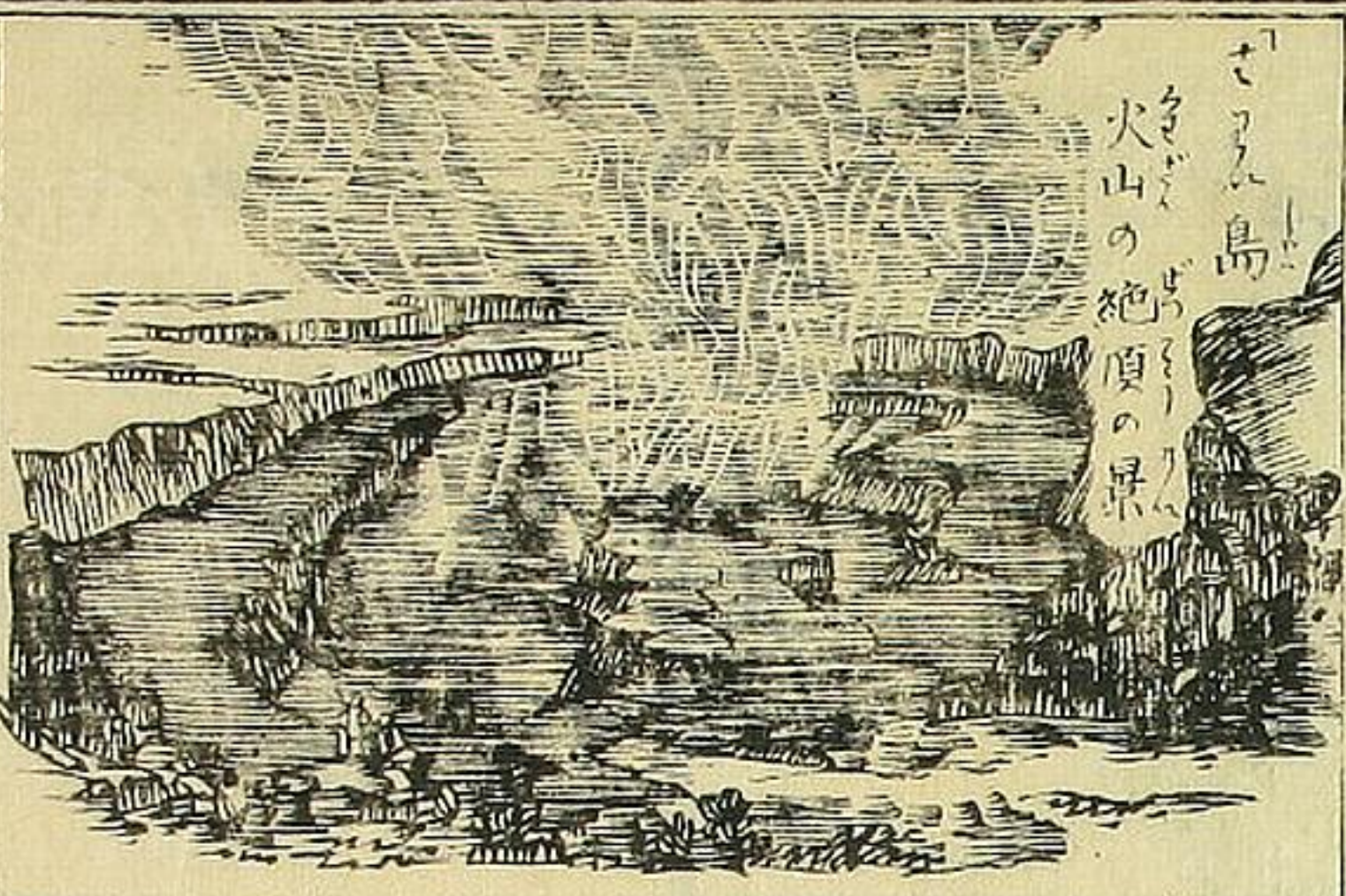


出北東  
越北の方  
赤道  
地  
人  
狭

世見國盡卷五

○山土逸地ハ千七  
 百七十八年ハびた  
 ン・コックの見出せ  
 島ハて同人ハ此嶋  
 人ハ殺さまたり人  
 の住居まる島の数  
 ハ何王風島の隣  
 ありてハ一ハ  
 ン大ひなる島あり  
 火山多一産物ハ砂

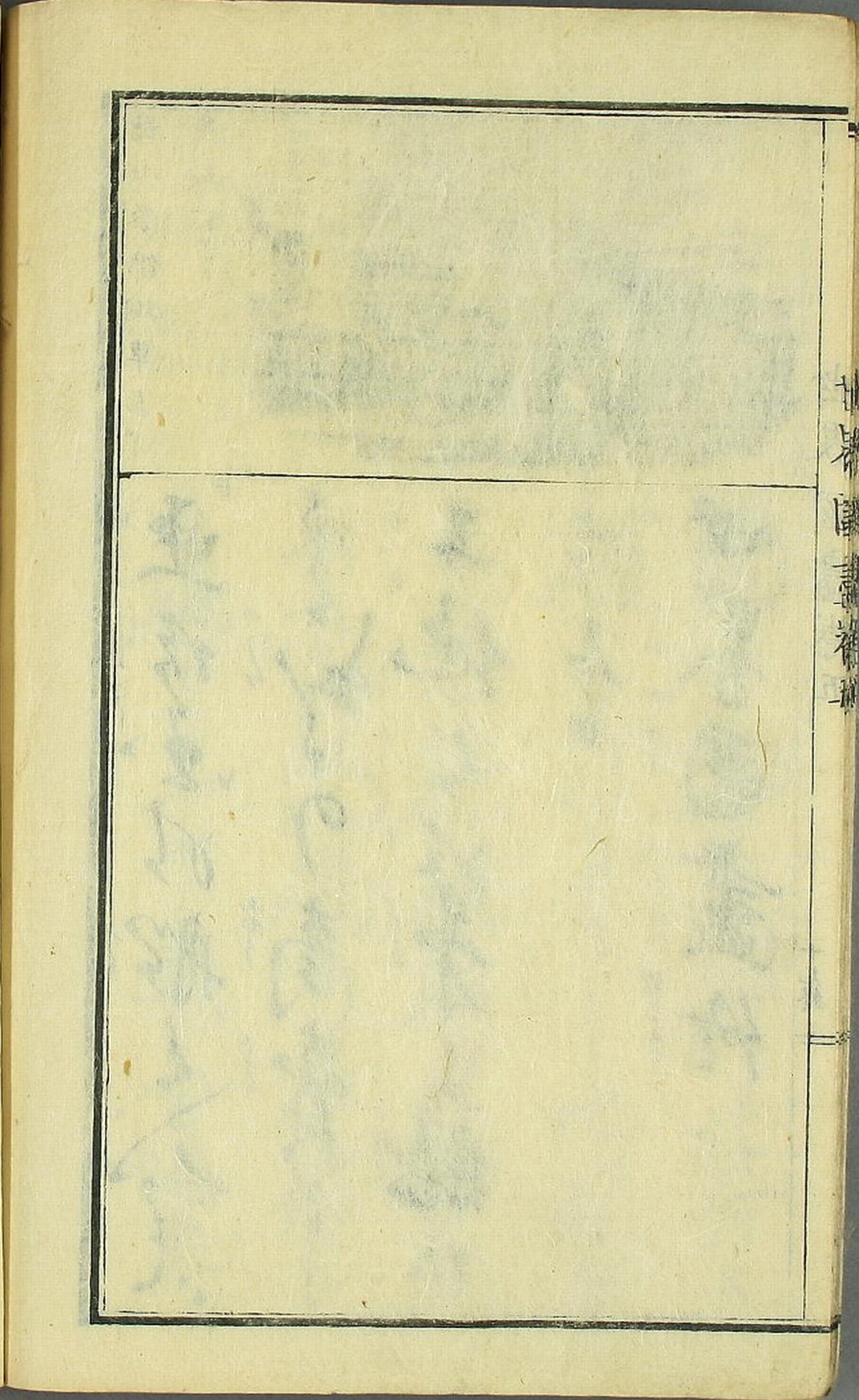
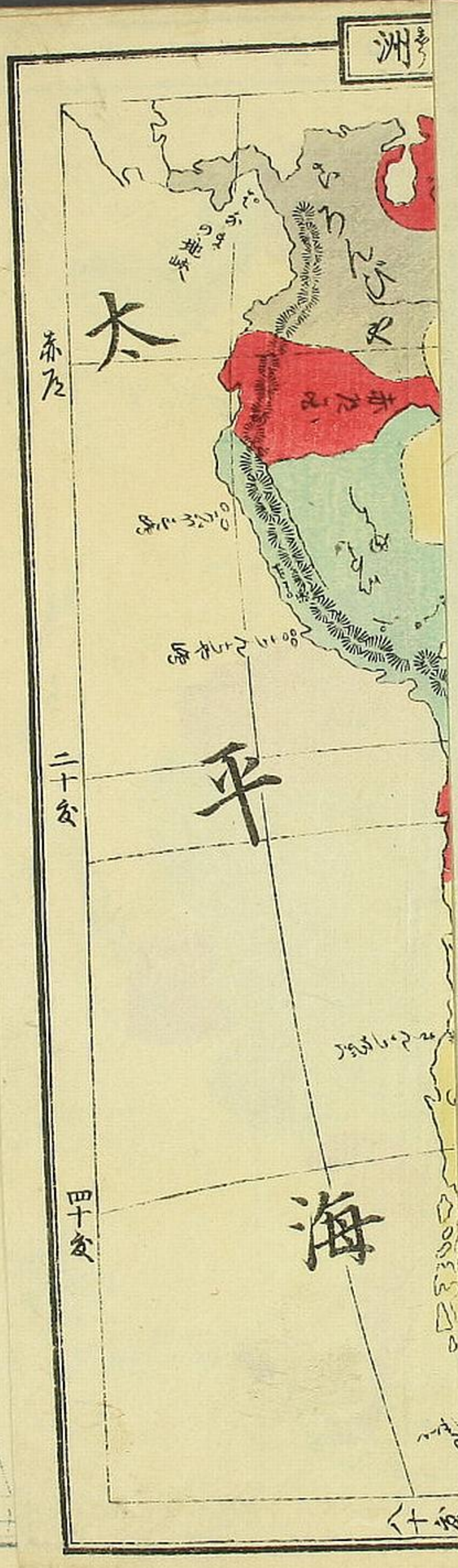
國古平海北北方  
 獨モ以キ一地理を  
 占ル鯨樺船以古  
 変王風嶋の花猫  
 嶋一の交易場矣



糖小麥綿烟草あど  
 澤山あり

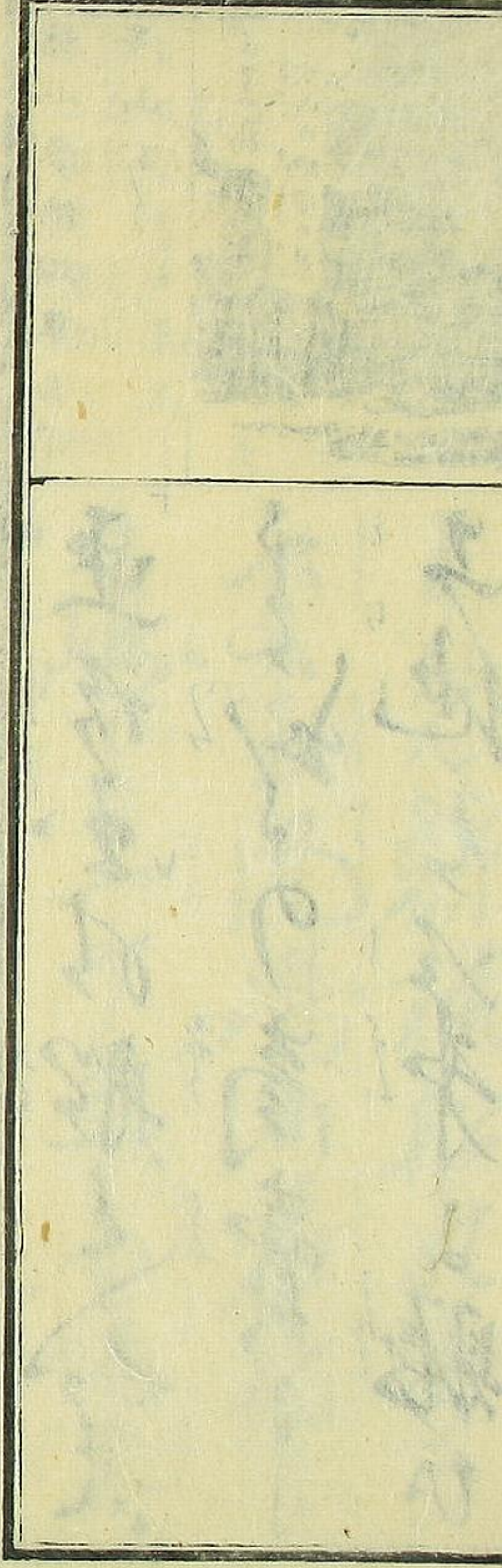
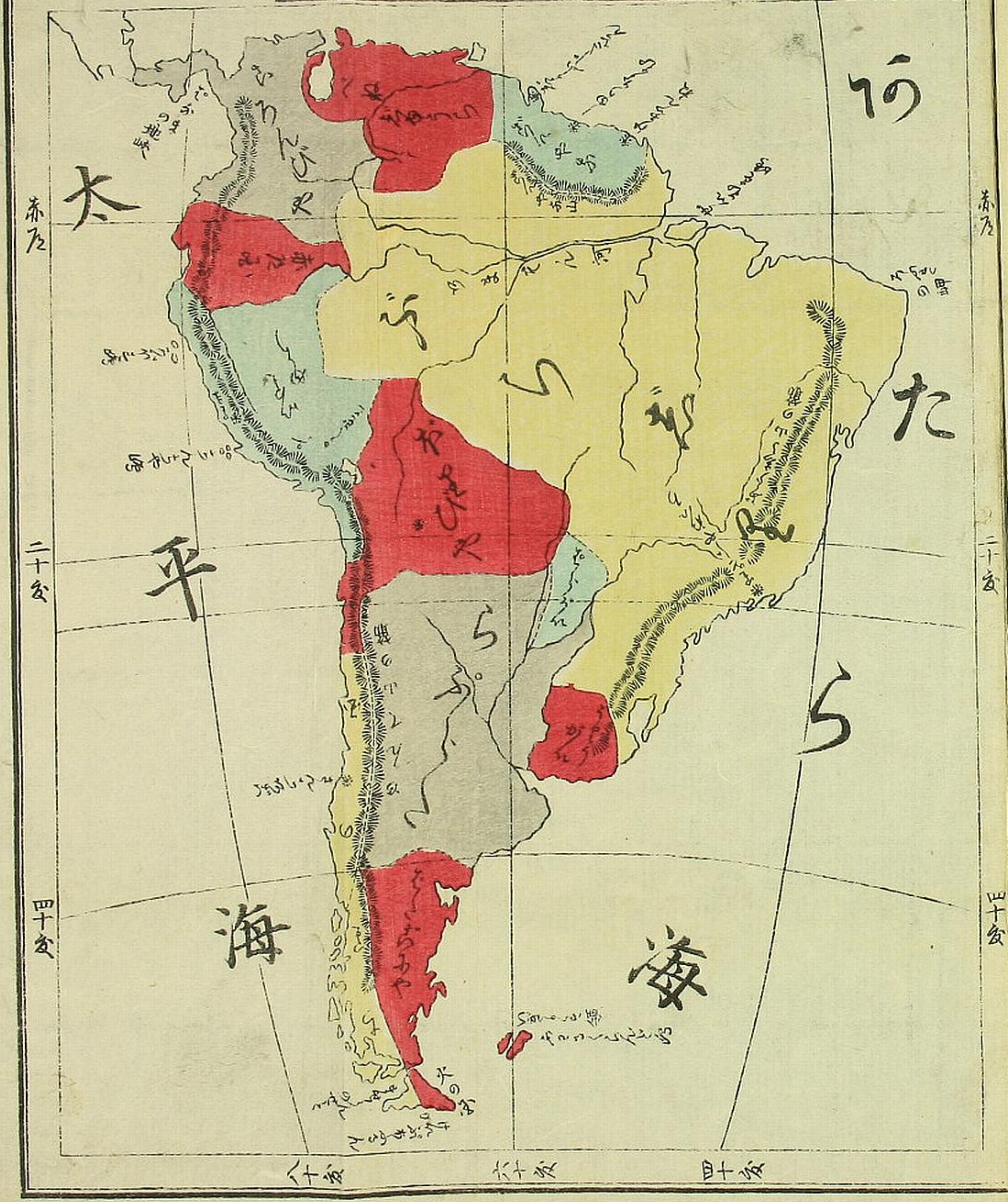
亞語主以船ハ  
 島のの高賣  
 土地ハ以才ハ眼  
 々々々々

世界國盡終



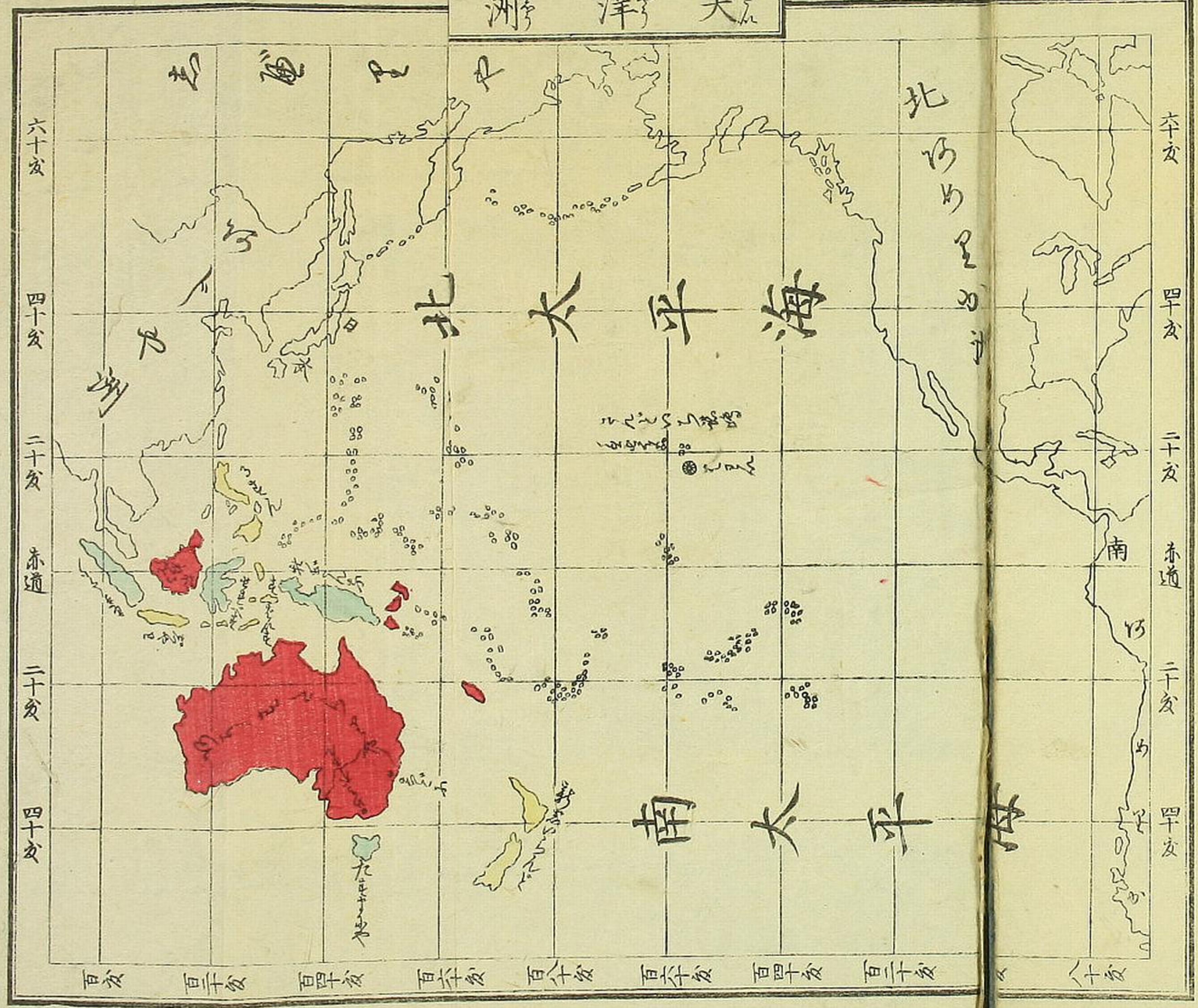
洲國書補

南亞米利加洲





大洋洲



六十度  
四十度  
二十度  
赤道  
二十度  
四十度

本交  
早交  
二十度  
赤道  
二十度  
早交  
六十度



010190533951



